



導入事例

バリュー HR の場合

自分で自分の健康を作る力を「健康リテラシー」というが、その育成を目的としたサービスを提供するバリュー HR。健康に関心を持ってもらうために親しみやすく作成した動画をメディアサイトのサーバーを活用し配信している。今後、より需要が期待されるヘルスケア産業における ICT の活用などについて、導入時のことを伺った。

生活習慣のトータルサポートに 動画配信でメディアサイトの サーバーを活用

～健康づくりに役立つポータルサイトの
運営に利便性を発揮～

健康サポートをワンストップで提供

平均寿命が延び健康志向が高まる日本で、当社はみなさんが大きな関心を寄せるヘルスケア産業に位置する企業です。健康保険組合や企業を対象としたワンストップの各種健康管理サービス「バリューカフェテリア®システム」を提供し、健康管理業務を推進しています。「バリューカフェテリア®システム」とは、利用者の皆さんが健康維持・増進に積極的に取り組むことが出来る健康管理や健康支援サービス、福利厚生などさまざまなメニューをご利用いただけるシステムです。

高齢化が進み、将来的に社会保障制度が厳しくなる可能性が高い中で、企業や健保組合では病院での受診を適正化する対策を取る必要性が顕著になっています。

なかでも当社の特長はトータルサポートであるということです。ダイエットやウォーキングを推奨する、健診結果を表示するなど、スポット的に行う企業は当社以外にもありますが、そういう企業がサポートできるのはそのポイントだけといえます。しかし、当然ながら1つの悩みを解決すれば、それで健康になれるわけではありません。健康診断から、健診結果の表示や情報提供、改善支援などワンストップで健康支援サービスを提供する必要があり、そうした企業は少ないのが現状です。しかも、お客様のニーズに合わせて、カスタマイズできるのも当社が他社と違う点といえるでしょう。

メディアサイトを 2018 年から導入

メディアサイトとの出会いは、私が前職の時に専門家を招いて講演会があり、講演者が大変充実した話をされるのに対し、それを広める手立てがなく苦慮した経験がありました。まだインターネット環境もあまり整備されていない時で、会社のインフラにのせようと



株式会社バリュー HR
健康経営&データヘルス推進室 室長
菊地 敬二 様

株式会社バリュー HR
健康経営&データヘルス推進室
川崎 亜希子 様

したら容量が少なく実現できませんでした。

そんな時に出会ったのがメディアサイトでした。録画も配信も簡単で、誰でも好きな時に見られるというのは画期的でした。そこで、2009年に導入に至ったのです。

その後、現職のバリュー HR に移ってから、厚生労働省が2018年に公募した「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」に対して、メディアサイトの動画配信システムを活用した健康リテラシー向上事業「くうねるあるく®」（新型コロナウイルス感染症拡大後は、「ふせぐ」をプラス）を企画し提案しました。採用後は前職でメディアサイトの利便性を知っていましたから、視聴履歴の確認や他事業との組み合わせなどを行い動画配信機能をフル活用させてもらっています。

手間のかからないサーバー活用

「くうねるあるく®+ふせぐ」は、利用者の健康課題を解決するた



「くねるあるく®+ふせぐ」は、動画を多用し利用者が楽しく健康リテラシーを身に付けられるポータルサイト

めに生活習慣の習得を通じて健康リテラシーの育成を目的としています。具体的には、6月と10月の年2回、1か月単位で正しい生活習慣のポイントを動画を通じて学びます。具体的には、「食事」「睡眠」など6つのコンテンツとメールマガジンに分かれており、それぞれに動画を見た後、小テストに回答してもらい知識が自分のものになる仕組みになっています。メールマガジンも1か月間毎日配信します。

メインコンテンツの動画配信やメールマガジンに掲載している動画配信にメディアサイトを活用しています。「くねるあるく®+ふせぐ」の動画は、利用者の方が楽しく見て知識を習得していただけるよう、イラストを使って親しみやすい世界観を作りこんでいます。出来上がってきた動画をメディアサイトに送り、アップロードしてもらいだけなので手間がかからないのはうれしいですね。毎回、40本以上の動画を大量に配信するわけですが、特に今まで問題はありません。

2018年からこれまで約78,000人(2021年12月時点)の方が

視聴されていますが、利用者の方は1度のログインで簡単に見ることができ、動画スピードも問題なく視聴いただいています。仕事の合間などにリフレッシュの一つとして見られる方がほとんどだと思いますので、ストレスのない視聴環境を提供できるのはいいですね。

今後は幅広い方に向けたコンテンツを

現在の「くねるあるく®+ふせぐ」の利用者は、40代のビジネスパーソンが中心です。視聴履歴は取れますが、どの時間帯に多く見られているかなども検証していきたいと思います。

今後は、ヘルスケア産業の中でもよりICT化が進んでいくのは間違いありません。当社も、健康づくりコンテンツを組合員の方だけでなく、個人向けにも広げていきたいですね。高齢者や女性向けのコンテンツなど幅広い年代や層に、それぞれ興味を持ってもらえるような健康情報をメディアサイトと協働で提供していきたいと思います。

メディアサイトのストリーミングサーバー

1. サーバー管理ページ (Management Portal)

Serverの管理ページ、Management Portalでは、以下の操作が可能
配信 各コンテンツの視聴URLを取得/コンテンツの視聴一覧ページを作成/外部サイトとの連携

管理 コンテンツをフォルダで一括管理/コンテンツの限定公開/セキュリティ設定/ユーザー登録ページ設定/Management Portal ログイン権限の付与

分析 ログレポートの取得/視聴者単位での視聴履歴取得

動画作成・編集 コンテンツ内容の編集 (Web Editor)/コンテンツをMP4として抽出 (Vodcast)/アンケート/質問/リンクを設定

2. ユーザー管理について

- ・ 視聴者はサーバーへ登録されたID/PWでログインしてコンテンツを視聴
- ・ CSVファイルによるID/PWの一括登録が可能
- ・ コンテンツごとのセキュリティ設定により、細かな視聴権限の割り振りが可能

3. Single Sign On 連携 (SSO 連携)

- ・ 他システムとの連携による認証機能
- ・ Mediasite Serverと他システム、別々でのログインが不要
- ・ カスタマイズ次第で連携システムへの視聴ログの受け渡しも可能

4. ユーザー登録ページ

- ・ 必須項目の姓・名・Eメールアドレスを登録してログインする機能
- ・ パスコード、追加の入力項目を設定でき、追加項目は必須/任意も選択可能
- ・ 2回目以降はEメールアドレス(設定した場合はパスコードも必要)でログインが可能

5. ログレポート

- ・ 詳細なログレポートでは、配信コンテンツ単位の詳細な情報が取得可能
- ・ 総視聴回数や総視聴人数はもちろんのこと、平均視聴時間や複数の視聴を除いたユーザー数等が取得可能
- ・ ユーザー登録ページを設定した場合、視聴者単位での情報を表示→登録情報だけでなく、視聴回数や視聴範囲も取得可能

